

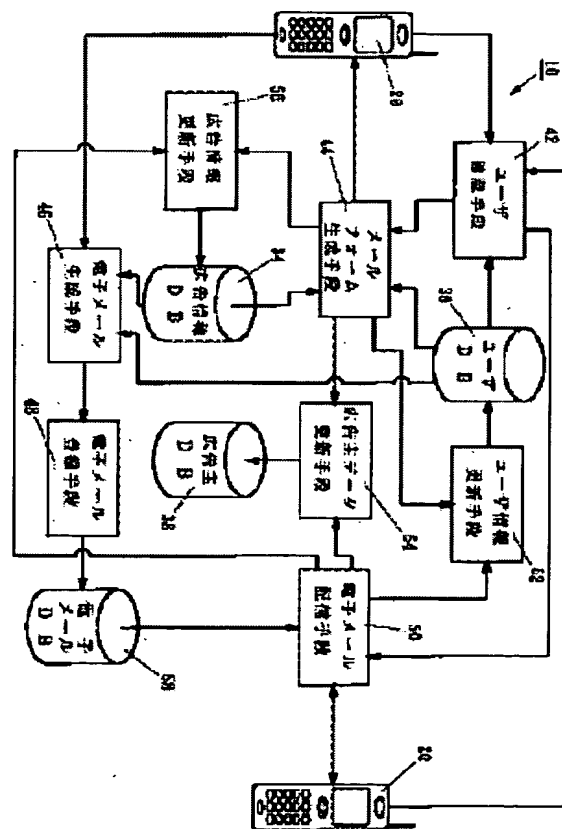
ADVERTISEMENT INFORMATION DELIVERY SYSTEM

Patent number: JP2002063100
 Publication date: 2002-02-28
 Inventor: IKEDA SHINTARO
 Applicant: IKEDA SHINTARO
 Classification:
 - international: G06F13/00; G06F17/60; H04L12/54; H04L12/58
 - european:
 Application number: JP20000250595 20000822
 Priority number(s): JP20000250595 20000822

2-28-02

Abstract of JP2002063100

PROBLEM TO BE SOLVED: To realize an advertisement information delivery system, capable of accurately delivering advertisement information to advertisement-target users with a high rate of advertisement browsing by the users. **SOLUTION:** This advertisement information delivery system has a user database 36 for registering therein user information of various kinds, including mail addresses in association with user identifying codes, and an advertisement information database 34 for registering therein two or more pieces of advertisement information, in association with user information on users as the advertisement targets of the advertisement information. This system is characterized in that user information on e-mail addressed users is retrieved from the database 36 and referenced, so that advertisement information targeted at the users having the referenced user information is extracted from the database 34, and that a mail form with the extracted advertisement information inserted in the head thereof is prepared and transmitted to the terminals of the e-mail addressed users.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-63100

(P 2 0 0 2 - 6 3 1 0 0 A)

(43) 公開日 平成14年2月28日 (2002.2.28)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G06F 13/00	540	G06F 13/00	540 P 5B049
	601		601 B 5K030
17/60	ZEC	17/60	ZEC
	326		326
H04L 12/54		H04L 11/20	101 B
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全15頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-250595 (P 2000-250595)

(22) 出願日 平成12年8月22日 (2000.8.22)

(71) 出願人 500393561

池田 進太郎

神奈川県川崎市中原区木月住吉町1931

(72) 発明者 池田 進太郎

神奈川県川崎市中原区木月住吉町1931

(74) 代理人 100096002

弁理士 奥田 弘之 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 BB11 BB49 CC31 DD02 DD05

EE05 EE23 EE28 FF03 FF04

FF09 GG03 GG06 GG07

5K030 GA16 HA08 HC01 JT03 KX28

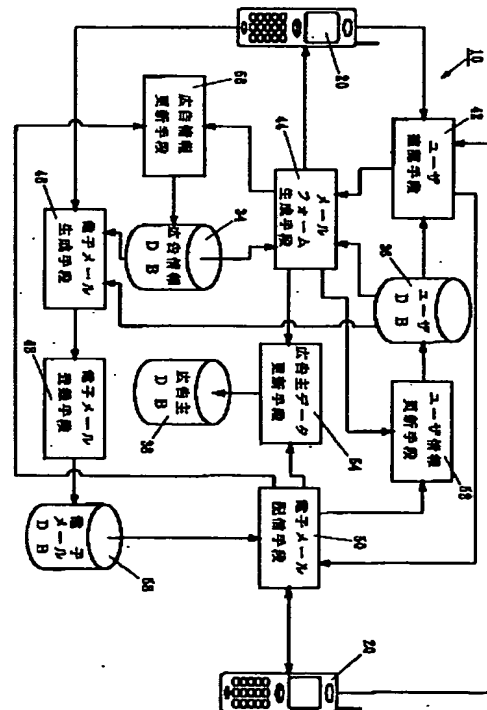
LD09 MB18

(54) 【発明の名称】 広告情報配信システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 広告情報を、その広告対象ユーザに対して的確に配信することができると共に、ユーザによる広告閲覧率の高い広告情報配信システムを実現する。

【解決手段】 メールアドレスを含む各種のユーザ情報を、ユーザ識別コードと関連付けて登録しておくユーザデータベース36と、複数の広告情報を、当該広告情報が広告対象とするユーザのユーザ情報と関連付けて登録しておく広告情報データベース34と、電子メール送信ユーザのユーザ情報を、上記ユーザデータベース36内から検索して参照すると共に、参照したユーザ情報を有するユーザを広告対象とする広告情報を、上記広告情報データベース34内から抽出し、さらに、抽出した広告情報が冒頭部に挿入されたメールフォームを作成して電子メール送信ユーザの端末に送信することを特徴とする広告情報配信システム。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 メールアドレスを含む各種のユーザ情報を、ユーザ識別コードと関連付けて登録しておくユーザ情報記憶手段と、

複数の広告情報を、当該広告情報が広告対象とするユーザのユーザ情報と関連付けて登録しておく広告情報記憶手段と、

電子メール送信ユーザのユーザ情報を、上記ユーザ情報記憶手段内から検索して参照すると共に、参照したユーザ情報を有するユーザを広告対象とする広告情報を、上記広告情報記憶手段内から抽出し、さらに、抽出した広告情報が挿入されたメールフォームを作成して電子メール送信ユーザの端末に送信するメールフォーム生成手段と、

上記電子メール送信ユーザから、上記メールフォームに入力された電子メール受信ユーザのメールアドレスを少なくとも含むメール情報が送信されると、送信されたメール情報中のメールアドレスをキーに、上記ユーザ情報記憶手段内を検索し、当該メールアドレスを持ったユーザのユーザ情報を参照すると共に、参照したユーザ情報を有するユーザを広告対象とする広告情報を、上記広告情報記憶手段内から抽出し、さらに、上記メールアドレスを宛名とし、抽出した広告情報が挿入されると共に、上記メール情報中にメール文が含まれている場合には、当該メール文の記述された電子メールを生成する電子メール生成手段と、

上記電子メールを、電子メール受信ユーザの端末に配信する電子メール配信手段と、を備えたことを特徴とする広告情報配信システム。

【請求項 2】 上記メールフォーム及び電子メールの冒頭部に、上記広告情報が挿入されることを特徴とする請求項 1 に記載の広告情報配信システム。

【請求項 3】 各ユーザの端末に、広告情報の挿入された上記メールフォーム又は上記電子メールが送信された場合に、各ユーザに付与される所定数のポイントを、ユーザ識別コードと関連付けて登録しておく記憶手段と、上記記憶手段内の各ユーザのポイント数を加算又は減算処理する手段と、を備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の広告情報配信システム。

【請求項 4】 上記ユーザ情報記憶手段は、各ユーザの認証データと各ユーザに配信された広告情報履歴とを登録しており、

上記広告情報記憶手段は、各広告情報と、当該広告情報に係る広告商品データ又は広告サービスデータとを関連付けて登録しており、

店舗の端末から、ユーザの認証データと広告商品データ又は広告サービスデータとが入力されると、上記認証データをキーに、上記ユーザ情報記憶手段内を検索し、当該認証データを有するユーザの広告情報履歴を参照すると共に、上記広告商品データ又は広告サービスデータを

キーに、上記広告情報記憶手段内を検索し、当該広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報を参照し、入力された認証データを有するユーザに対して、入力された広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報が配信されたか否かを確認する手段と、を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の広告情報配信システム。

【請求項 5】 請求項 4 に記載の広告情報配信システムにおいて、

10 上記広告情報記憶手段は、各広告情報と、当該広告情報の有効期間・日時データ及び／又は販売人数制限データとを関連付けて登録しており、

店舗の端末から、ユーザの認証データと広告商品データ又は広告サービスデータとが入力されると、上記認証データをキーに、上記ユーザ情報記憶手段内を検索し、当該認証データを有するユーザの広告情報履歴を参照すると共に、上記広告商品データ又は広告サービスデータをキーに、上記広告情報記憶手段内を検索し、当該広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報を参照し、入力された認証データを有するユーザに対して、入力された広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報が配信されたか否かを確認すると共に、広告情報の有効期間・日時内であるか否か、及び／又は販売人数制限内であるか否かを確認する手段と、を備えたことを特徴とする広告情報配信システム。

【請求項 6】 上記ユーザの認証データは、バーコード表示されてユーザの携帯端末のメモリに格納されており、上記メモリから読み出されて携帯端末の画面に表示された上記バーコードを、店舗の P O S 端末のバーコードリーダが読み取ることにより、上記認証データの入力が行われることを特徴とする請求項 4 または 5 に記載の広告情報配信システム。

【請求項 7】 上記ユーザの認証データは、ユーザの携帯端末のメモリに格納されており、携帯端末のメモリに格納された当該認証データを、店舗の端末に無線電送することにより、上記認証データの入力が行われることを特徴とする請求項 4 または 5 に記載の広告情報配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、電子メールを用いた広告情報提供システムに係り、特に、電子メールの送り手であるユーザと、電子メールの受け手であるユーザの双方に対して、当該ユーザを広告対象とする広告情報を配信することのできる広告情報配信システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、メーカーやサービス業者が自社の有形・無形の商品（サービス）の広告を行う場合には、テレビ、新聞、雑誌などのマスメディアを介して行った

り、ダイレクトメールを消費者に送付して行うのが一般的であった。また、近年は、インターネットの急速な普及に伴い、ウェブサイト上に方形画像を表示し、あたかも広告塔を設置するかのごとくに画面上に広告を表示するバナー広告と称されるサイバー広告方法も採用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、マスメディアを介した広告は、広告対象とする消費者を絞り込むことなく、不特定多数に対して一律に行われるものであるため、高額な広告費用がかかる割には広告効果の低いものであった。また、ダイレクトメールによる広告にあっては、それなりに広告対象とする消費者を絞り込んで送付されるものの、大量のダイレクトメールが日々送りつけられる消費者は、中身を見ることなく廃棄する場合がほとんどであり、実際の購買につながる可能性は低かった。一方、インターネットを利用したサイバー広告は、広告掲載費用が安価で済むため、安易な広告が氾濫しているのが実状であり、その広告効果が低いという問題があった。さらに、上記従来の広告手法にあっては、商品の購買者が、当該商品の広告を見て購買したか否かを確認することが困難であった。

【0004】この発明は、上記問題を解決するために案出されたものであり、その目的とするところは、広告情報を、その広告対象ユーザに対して的確に配信することができると共に、ユーザによる広告閲覧率の高い広告情報配信システムを実現することにある。また、広告商品（広告サービス）を購買するユーザに、当該広告商品（広告サービス）の広告情報が配信されたか否かを確認することができ、その結果、ユーザの購買意欲を刺激する広告を柔軟に行うことが可能な広告情報配信システムの実現を目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、請求項1に係る広告情報配信システムは、メールアドレスを含む各種のユーザ情報を、ユーザ識別コードと関連付けて登録しておくユーザ情報記憶手段と、複数の広告情報を、当該広告情報が広告対象とするユーザのユーザ情報と関連付けて登録しておく広告情報記憶手段と、電子メール送信ユーザのユーザ情報を、上記ユーザ情報記憶手段内から検索して参照すると共に、参照したユーザ情報を有するユーザを広告対象とする広告情報を、上記広告情報記憶手段内から抽出し、さらに、抽出した広告情報が挿入されたメールフォームを作成して電子メール送信ユーザの端末に送信するメールフォーム生成手段と、上記電子メール送信ユーザから、上記メールフォームに入力された電子メール受信ユーザのメールアドレスを少なくとも含むメール情報が送信されると、送信されたメール情報中のメールアドレスをキーに、上記ユーザ情報記憶手段内を検索し、当該メールアドレスを

持ったユーザのユーザ情報を参照すると共に、参照したユーザ情報を有するユーザを広告対象とする広告情報を、上記広告情報記憶手段内から抽出し、さらに、上記メールアドレスを宛名とし、抽出した広告情報が挿入されると共に、上記メール情報中にメール文が含まれている場合には、当該メール文の記述された電子メールを生成する電子メール生成手段と、上記電子メールを、電子メール受信ユーザの端末に配信する電子メール配信手段と、を備えたことを特徴とする。

10 【0006】このように、本システムにおいては、通信手段としての利用が急速に増加している電子メールに広告情報を挿入して配信するようにしたので、広告情報の配信機会を増大させることができる。しかも、電子メールの送信ユーザ及び受信ユーザの双方に対して、当該ユーザを広告対象とする広告情報を配信することができるので、広告情報を配信されたユーザが広告商品（広告サービス）を購買する可能性が高く、効果的に広告を行うことができる。

20 【0007】請求項2に記載の広告情報配信システムは、上記メールフォーム及び電子メールの冒頭部に、上記広告情報が挿入されることを特徴とする。このように、メールフォーム及び電子メールの冒頭部に、広告情報を挿入して配信すれば、ユーザによる広告情報の閲覧率を高めることができる。

30 【0008】請求項3に記載の広告情報配信システムは、各ユーザの端末に、広告情報の挿入された上記メールフォーム又は上記電子メールが送信された場合に、各ユーザに付与される所定数のポイントを、ユーザ識別コードと関連付けて登録しておく記憶手段と、上記記憶手段内の各ユーザのポイント数を加算又は減算処理する手段と、を備えたことを特徴とする。

40 【0009】このように、広告情報の挿入されたメールフォーム又は電子メールがユーザに配信されると所定数のポイントがユーザに付与され、付与されたポイントをユーザ識別コードと関連付けて登録しておく記憶手段を設けたので、このポイントを、例えばキャッシュバックや商品割引といったサービスとリンクさせることにより、ユーザはより多くのポイント獲得のために、本システムを利用した電子メールの送受信を積極的に行うこととなり、その結果、このシステムの広告媒体としての価値を向上させることができる。

50 【0010】請求項4に記載の広告情報配信システムは、上記ユーザ情報記憶手段は、各ユーザの認証データと各ユーザに配信された広告情報履歴を登録しており、上記広告情報記憶手段は、各広告情報と、当該広告情報に係る広告商品データ又は広告サービスデータとを関連付けて登録しており、店舗の端末から、ユーザの認証データと広告商品データ又は広告サービスデータとが入力されると、上記認証データをキーに、上記ユーザ情報記憶手段内を検索し、当該認証データを有するユーザの広

告情報履歴を参照すると共に、上記広告商品データ又は広告サービスデータをキーに、上記広告情報記憶手段内を検索し、当該広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報を参照し、入力された認証データを有するユーザに対して、入力された広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報が配信されたか否かを確認する手段と、を備えたことを特徴とする。

【0011】請求項4に記載の広告情報配信システムにあっては、店舗の端末から入力された認証データを有するユーザに対して、店舗の端末から入力された広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報が配信されたか否かを確認することができる。このため、例えば、「この広告を見た人にだけ、この広告商品を30%引き」といったようなユーザの購買意欲を刺激する広告を行うことができる。

【0012】請求項5に記載の広告情報配信システムは、請求項4に記載の広告情報配信システムにおいて、上記広告情報記憶手段は、各広告情報と、当該広告情報の有効期間・日時データ及び／又は販売人数制限データとを関連付けて登録しており、店舗の端末から、ユーザの認証データと広告商品データ又は広告サービスデータとが入力されると、上記認証データをキーに、上記ユーザ情報記憶手段内を検索し、当該認証データを有するユーザの広告情報履歴を参照すると共に、上記広告商品データ又は広告サービスデータをキーに、上記広告情報記憶手段内を検索し、当該広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報を参照し、入力された認証データを有するユーザに対して、入力された広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報が配信されたか否かを確認すると共に、広告情報の有効期間・日時内であるか否か、及び／又は販売人数制限内であるか否かを確認する手段と、を備えたことを特徴とする。

【0013】請求項5に記載の広告情報配信システムにあっては、店舗の端末から入力された認証データを有するユーザに対して、店舗の端末から入力された広告商品データ又は広告サービスデータの広告情報が配信されたか否かに加えて、広告情報の有効期間・日時内であるか否か、及び／又は販売人数制限内であるか否かを確認することができる。このため、例えば、「4月21日の午前10時から午後3時迄、先着50名様に限り、〇〇商品を3割引で販売」のごとく、請求項4の場合より、更にユーザの購買意欲を刺激する「期間限定、人数限定で特別割引を行う」といった広告が可能となる。

【0014】請求項6に記載の広告情報配信システムは、上記ユーザの認証データは、バーコード表示されてユーザの携帯端末のメモリに格納されており、上記メモリから読み出されて携帯端末の画面に表示された上記バーコードを、店舗のPOS端末のバーコードリーダーが読み取ることにより、上記認証データの入力が行われることを特徴とする。このように、ユーザの認証データをバ

ーコード表示して携帯端末のメモリに格納しておき、携帯端末の画面に表示されたバーコードを、店舗のPOS端末のバーコードリーダーで読み取るようにすれば、認証データの入力作業を容易に行うことができる。

【0015】請求項7に記載の広告情報配信システムは、上記ユーザの認証データは、ユーザの携帯端末のメモリに格納されており、携帯端末のメモリに格納された当該認証データを、店舗の端末に無線電送することにより、上記認証データの入力が行われることを特徴とする。このように、ユーザの認証データを携帯端末のメモリに格納しておき、携帯端末のメモリに格納された当該認証データを、店舗の端末に無線電送するようにすれば、請求項6の場合より、更に容易に認証データの入力作業を容易に行うことができる。尚、上記無線電送としては、例えば、ブルートゥースと称される、2.4GHzの周波数帯の電波を用い、半径約10m以内で通信可能な短距離無線電送が該当する。

【0016】

【発明の実施の形態】図1は、この発明に係る広告情報配信システム10の全体イメージを示すものであり、このシステム10の運用者が管理するセンターサーバ12と、各広告主の管理する多数の情報端末としてのパソコン14と、広告の対象商品を販売する店舗内に配置された多数の情報端末としてのパソコン16と、このシステムのユーザ18が所持する多数の携帯端末20とが、インターネットや専用回線22等の通信手段を介してネットワーク接続されている。

【0017】上記センターサーバ12は、WWW(World Wide Web)サーバ機能、メールサーバ機能、アプリケーションサーバ機能、データベースサーバ機能等を備えており、複数のワークステーションやパソコンをネットワーク接続することによって構成されている。ユーザ18が所持する携帯端末20としては、インターネット接続機能を備えた携帯電話や携帯情報端末(PDA)、Palm OS(登録商標)搭載の小型コンピュータ等が該当する。インターネット接続機能を備えた携帯電話とセンターサーバとの間では、当該携帯電話のキャリアが運営するゲートウェイサーバ経由で情報の交換が実現される。

【0018】図2は、この広告情報配信システム10が果たす諸機能の中で、ユーザ登録及び広告情報の登録を行う場面における機能構成を示すブロック図であり、ユーザ登録フォーム生成手段24、ユーザ情報登録手段26、認証データ発行手段27、広告主確認手段28、広告フォーム送信手段30、広告情報登録手段32、広告情報データベース34、ユーザデータベース36、広告主データベース38、広告フォームデータベース40とが用いられている。上記ユーザ登録フォーム生成手段24、ユーザ情報登録手段26、認証データ発行手段27、広告主確認手段28、広告フォーム送信手段30、広告情報登録手段32は、センターサーバ12を構成するコンピュータのCPUが、OSや専用

プログラムに従って所定の処理を実行することによって実現される。上記広告情報データベース34、ユーザデータベース36、広告主データベース38、広告フォームデータベース40は、センターサーバ12を構成するコンピュータのハードディスク内に格納されている。

【0019】図3は、この広告情報配信システム10が果たす諸機能の中で、ユーザ18同士が電子メールを利用する際に、当該ユーザ18を広告対象とする広告情報を配信する場面における機能構成を示すブロック図であり、ユーザ確認手段42、メールフォーム生成手段44、電子メール生成手段46、電子メール登録手段48、電子メール配信手段50、ユーザ情報更新手段52、広告主データ更新手段54、広告情報更新手段56、ユーザデータベース36、広告情報データベース34、広告主データベース38、電子メールデータベース58とが用いられている。上記ユーザ確認手段42、メールフォーム生成手段44、電子メール生成手段46、電子メール登録手段48、電子メール配信手段50、ユーザ情報更新手段52、広告主データ更新手段54、広告情報更新手段56は、センターサーバ12を構成するコンピュータのCPUが、OSや専用プログラムに従って所定の処理を実行することによって実現される。上記ユーザデータベース36、広告情報データベース34、広告主データベース38、電子メールデータベース58は、センターサーバ12を構成するコンピュータのハードディスク内に格納されている。

【0020】図4は、この広告情報配信システム10が果たす諸機能の中で、配信された広告情報を閲覧したユーザ18が広告商品を購入する場面における機能構成を示すブロック図であり、販売条件確認手段60、確認結果送信手段62、ユーザ情報更新手段52、広告主データ更新手段54、広告情報更新手段56、ユーザデータベース36、広告主データベース38、広告情報データベース34とが用いられている。上記販売条件確認手段60、確認結果送信手段62、ユーザ情報更新手段52、広告主データ更新手段54、広告情報更新手段56は、センターサーバ12を構成するコンピュータのCPUが、OSや専用プログラムに従って所定の処理を実行することによって実現される。上記ユーザデータベース36、広告主データベース38、広告情報データベース34は、センターサーバ12を構成するコンピュータのハードディスク内に格納されている。

【0021】図2のブロック図及び図5のフローチャートに基づき、このシステム10にユーザ18が新規登録する際の処理手順を説明する。このシステム10の利用を希望するユーザ18は、自己の携帯電話等の携帯端末20からセンターサーバ12のURLを入力し、インターネット経由でシステム10のWebサイトにアクセスし、「ユーザ登録フォーム」の送信を要求する(図5のS10)。上記「ユーザ登録フォーム」の送信要求を受けると、ユーザ登録フォーム生成手段24は、広告情報データベース34内を検索し、所定の広告情報を抽出する(S11)と共に、当該広

告情報が冒頭に挿入されたユーザ登録フォーム(図6)を作成し、これをHTML形式のWebページとしてユーザ18の携帯端末20に送信する(S12)。送信されたユーザ登録フォームは、ユーザ18の携帯端末20に組み込まれたブラウザプログラムの機能により、携帯端末20の画面上に表示される(S13)。尚、ユーザ18の新規登録の段階では、当該ユーザ18のユーザ情報がユーザデータベース36内に登録されていないので、上記ユーザ登録フォーム生成手段24は、広告対象ユーザのユーザ情報が指定がなされていない、いわゆる万人向けの広告を広告情報データベース34内から抽出する。このような広告としては、例えば、企業のイメージ広告などが考えられる。

【0022】ユーザ18は、送信されたユーザ登録フォームに、自己の希望するユーザID(ユーザ識別コード、図6では、yoshiko)及びパスワードや、氏名、性別、生年月日、年齢、住所といったユーザ属性に関するユーザ情報を入力する。図6においては、図示の便宜上一部の入力項目のみが表示されているが、携帯端末20のスクロールキーを操作することにより、他の入力項目が現れる。各入力項目に必要なデータを入力した後、登録ボタンを選択することにより、入力されたデータがセンターサーバ12に送信される(S14)。

【0023】これを受けてセンターサーバ12では、ユーザ情報登録手段26により、入力データをユーザデータベース36内に登録する(S15)。また、新規ユーザ18に対して、システム10側から、上記ユーザIDにシステムのドメイン名を付加したメールアドレス(図6では、yoshiko@Admoon.co.jp)が付与される。尚、このメールアドレス自体を、ユーザ18のユーザIDとして利用することもできる。また、上記各ユーザ18のユーザIDは、他のユーザ18と重複することなく固有のものであることが要求されるため、システム10の側で決定して新規ユーザ18に割り振るようにしても良い。

【0024】図7は、ユーザデータベース36内の各ユーザレコードに設定されるユーザ情報のデータ項目例を示すものであり、ユーザIDを筆頭に、パスワード、システム側から付与されたメールアドレス、氏名、性別、年齢、住所、携帯電話番号、趣味、職業、年収、ポイント、購買履歴、広告情報履歴等の項目が設定されている。尚、上記データ項目は一例であり、必要に応じて増減させることができるのはいうまでもない。

【0025】上記ユーザ登録が完了すると、図8に示す登録完了を通知するWebページがユーザ18の携帯端末20に送信・表示される。また、ユーザ登録が完了すると、認証データ発行手段27が、当該ユーザ18のユーザIDやパスワード等の当該ユーザ認証用のデータを発行し、これをユーザ18の携帯端末20に送信する(S16)。図9は、送信された認証データの一例を示すものであり、この認証データは、ユーザIDをバーコード表示して構成されたものである。ユーザ18は、送信された認証データ

を、自己の携帯端末20のメモリーに格納しておく。後述するように、上記認証データは、販売条件確認手段60が当該認証データを有するユーザ18をユーザデータベース36内から検索・抽出するために用いられるものであり、従って、この認証データは、ユーザIDに限らず、当該ユーザ18を特定できるデータであれば良い。例えば、携帯電話番号や固定電話番号等を認証データとして利用することもできる。

【0026】上記の通り、本システム10においては、ユーザ18が新規登録する際においても、ユーザ登録フォームに広告情報を挿入して送信するようにしたので、広告情報の配信機会を多く確保することができる。また、送信される広告情報を、ユーザ登録フォームの冒頭部に挿入したので、ユーザ18による広告情報の閲覧率を高めることができる。

【0027】次に、図2のブロック図及び図10のフローチャートに基づき、広告主が自己の広告情報を登録する場合の処理手順を説明する。広告主が広告情報を登録する場合の前提として、予め、広告主登録されている必要がある。この広告主登録は、各広告主に、固有の広告主IDとパスワードが割り当てられると共に、各広告主の広告主データを、上記広告主ID及びパスワードと関連付けて広告主データベース38内に登録することにより行われる。図11は、広告主データベース38内の各広告主レコードに設定される広告主データのデータ項目例を示すものであり、広告主IDを筆頭に、パスワード、システム側から付与されたメールアドレス、名称、住所、業種、広告料金、広告履歴、販売履歴等の項目が設定されている。尚、上記データ項目は一例であり、必要に応じて増減されるものである。

【0028】上記広告主登録の完了した広告主が、自己の広告情報を登録する場合には、パソコン14からインターネット経由でセンターサーバ12のWebサイトにアクセスし、広告主ID及びパスワードをセンターサーバ12に入力する(図10のS20)。上記広告主ID及びパスワードが入力されると、広告主確認手段28は、当該広告主ID及びパスワードをキーに広告主データベース38内を検索し、予め登録されている広告主ID及びパスワードと、入力された広告主ID及びパスワードとが一致するか否か確認する。

【0029】ここで肯定的な判定が得られると(S21)、広告フォーム送信手段30が、広告フォームデータベース40内から所定の広告フォームを抽出して、広告主のパソコン14に送信する(S22)。送信された広告フォームは、パソコン14のブラウザプログラムの機能により、画面上に表示される(S23)。図12は、広告主のパソコン14の画面上に表示された広告フォームの一例を示すものであり、広告主は、広告掲載期間、広告件数、広告対象とするユーザの居住地域、性別、年齢等の広告対象ユーザ情報、広告内容等の広告情報を入力し、セン

ターサーバ12に送信する(S24)。センターサーバ12からは、図13に示す広告情報の確認や広告料金を通知するWebページが送信され、ここで広告依頼ボタンを選択すると、広告情報登録手段32が、当該広告情報に固有のIDを付与すると共に、広告主の広告主IDと関連付けて広告情報データベース34内に登録する(S25)。

【0030】図14は、広告情報データベース34内の各広告情報レコードに設定されるデータ項目例を示すものであり、広告情報IDを筆頭に、広告主ID、広告掲載期間、広告件数、広告地域・性別・対象年齢等の広告対象ユーザの指定情報、広告単価、広告内容、広告商品ID、広告回数、配信履歴、広告有効期間・日時、販売人数制限、販売人数等の項目が設定されている。図14に示すデータ項目は一例にすぎず、必要に応じて増減可能である。

【0031】上記広告情報の登録が完了すると、図15に示す登録完了と当該広告情報のIDを通知するWebページが広告主のパソコン14に送信・表示される。尚、広告情報の修正や削除を行う場合には、各広告情報に付与された広告情報IDを指定することによって処理の対象を特定する。

【0032】次に、図3のブロック図及び図16のフローチャートの基づき、このシステム10のユーザ18同士が電子メールの送受信をする際に、当該ユーザ18を広告対象とする広告情報を配信するための処理手順を説明する。電子メールを送信するユーザ18は、先ず、自己の携帯端末20からインターネット経由でセンターサーバのWebサイトにアクセスし、ユーザID及びパスワードをセンターサーバ12に入力する(S30)。上記ユーザID及びパスワードが入力されると、ユーザ確認手段42は、当該ユーザID及びパスワードをキーにユーザデータベース36内を検索し、予め登録されているユーザID及びパスワードと、入力されたユーザID及びパスワードとが一致するか否か確認する。

【0033】ここで肯定的な判定が得られると(S31)、メールフォーム生成手段44が、入力された上記ユーザIDをキーに、ユーザデータベース36内から当該ユーザ18のユーザ情報を検索して参照する(S32)と共に、参照したユーザ情報を有するユーザ18を広告対象として指定する広告情報を、上記広告情報データベース34内から検索・抽出し(S33)、抽出した広告情報が冒頭部に挿入されたメールフォームを作成し、これをHTML形式のWebページとしてユーザ18の携帯端末20に送信する(S34)。送信されたメールフォームは、図17に示すように、ユーザ18の携帯端末20に組み込まれたブラウザプログラムの機能により、携帯端末20の画面上に表示される(S35)。

【0034】上記の通り、メール送信ユーザ18を広告対象として指定する広告情報の挿入されたメールフォームがユーザ18宛に送信されると、ユーザ情報更新手段52

が、ユーザデータベース36内における、当該ユーザ18のデータ中のポイントに所定数のポイントを加算すると共に、配信された広告情報のID等を広告情報履歴に記述して、ユーザ情報を更新する(S36)。また、広告主データ更新手段54が、広告主データベース38内における、上記広告情報を登録した広告主のデータ中の広告料金に所定金額を加算して、広告主データを更新する(S37)。さらに、広告情報更新手段56が、広告情報データベース34内における、上記広告情報のデータ中の広告回数に1回加算すると共に、当該広告情報を配信したユーザのID等を配信履歴に記述して、広告情報データを更新する(S38)。

【0035】電子メールを送信するユーザ18は、メールフォーム中に宛先アドレス及びメール文等のメール情報を入力し、送信ボタンを選択してセンターサーバ12に送信する(S39)。図17においては、宛先アドレスとして、本システムのユーザのメールアドレス「hiroshi@Admoon.co.jp」が、メール文として「七時に渋谷ハチ公前、遅れないでね。ヨシコ」が入力された状態が示されている。

【0036】メール情報が送信されると、電子メール生成手段46は、メール情報中のメールアドレスをキーにユーザデータベース36内を検索し、当該メールアドレスを持ったユーザ18を検索し、当該ユーザ18のユーザ情報を参照する(S40)と共に、参照したユーザ情報を有するユーザ18を広告対象として指定する広告情報を、上記広告情報データベース34内から検索・抽出する(S41)。そして、電子メール生成手段46は、送信されたメールアドレスを宛名とし、抽出した広告情報が冒頭部に挿入されると共に、送信されたメール文の記述された電子メールを生成する(S42)生成された電子メールは、電子メール登録手段48によって、電子メールデータベース58内に登録される(S43)。

【0037】上記電子メールを受信するユーザ18(メールアドレス:hiroshi@Admoon.co.jp)は、自己の携帯端末20からインターネット経由でセンターサーバ12のWebサイトにアクセスし、ユーザID(hiroshi)及びパスワードをセンターサーバ12に入力する(S44)。上記ユーザID及びパスワードが入力されると、ユーザ確認手段42は、当該ユーザID及びパスワードをキーにユーザデータベース36内を検索し、予め登録されているユーザID及びパスワードと、入力されたユーザID及びパスワードとが一致するか否かを確認する。

【0038】ここで肯定的な判定が得られ(S45)、当該ユーザ18から電子メールの配信要求が入力される(S46)と、電子メール配信手段50が、当該ユーザ18宛の電子メールを電子メールデータベース58内から抽出し、配信する(S47)。図18は、配信された電子メールの例を示すものであり、冒頭部に電子メール受信ユーザ18を広告対象とする広告情報が挿入されている。

【0039】上記の通り、メール受信ユーザ18に対して、当該ユーザ18を広告対象として指定する広告情報の挿入された電子メールが配信されると、ユーザ情報更新手段52が、ユーザデータベース36内における、当該メール受信ユーザ18のデータ中のポイントに所定数のポイントを加算すると共に、配信された広告情報のID等を広告情報履歴に記述して、ユーザ情報を更新する(S48)。また、広告主データ更新手段54が、広告主データベース38内における、上記広告情報を登録した広告主のデータ中の広告料金に所定金額を加算して、広告主データを更新する(S49)。さらに、広告情報更新手段56が、広告情報データベース34内における、上記広告情報のデータ中の広告回数に1回加算すると共に、当該広告情報を配信したユーザ18のID等を配信履歴に記述して、広告情報データを更新する(S50)。

【0040】上記において、ユーザデータに加算されるポイントは、広告情報を閲覧したことに対する対価としてユーザ18に与えられるものであり、ユーザ18は所定数のポイントを集めることにより、キャッシュバックや商品割引を受けることができるものである。図19は、ユーザ18の携帯端末20に送信・表示されたポイント数確認の画面表示例を示すものであり、キャッシュバックを希望するユーザ18は、振込口座を入力してセンターサーバ12へ送信することにより、獲得したポイントを現金化することができる。

【0041】尚、上記メールフォームに挿入される広告情報中の所定の文字列(例えば、広告主のWebサイトのURLを記述した文字列等)や画像(例えば広告商品の写真画像)と、当該広告情報の広告主のWebサイトのURLとを関連付け(いわゆるハイパーリンク)しておき、メール送信ユーザが、上記文字列や画像をクリックすると広告主のWebサイトにアクセスできるようにすれば、広告主はより多くの広告情報をユーザに対して伝えることができる。また、電子メール生成手段46で生成される電子メールがHTML形式の場合にも、上記と同様に、電子メールに挿入される広告情報中の所定の文字列(例えば、広告主のWebサイトのURLを記述した文字列等)や画像(例えば広告商品の写真画像)と、当該広告情報の広告主のWebサイトのURLとを関連付け(いわゆるハイパーリンク)しておき、メール受信ユーザが、上記文字列や画像をクリックすると広告主のWebサイトにアクセスできるようにすれば、広告主はより多くの広告情報をユーザに対して伝えることができる。さらに、ユーザが、広告主のWebサイトにアクセスすることを促進するため、ユーザが広告情報中の文字列や画像をクリックして広告主のWebサイトにアクセスした場合には、所定数のポイントを与えるようにしても良い。

【0042】上記の通り、本システム10においては、電子メールの送信ユーザ18及び受信ユーザ18の双方に対して、当該ユーザ18を広告対象とする広告情報を配信する

ことができるので、広告情報を配信されたユーザ18が広告商品（サービス）を購入する可能性が高く、効果の高い広告を行うことができる。しかも、ユーザ18に配信される広告情報は、上記の通り、メールフォーム及び電子メールの冒頭部に挿入されて配信されるので、ユーザ18による広告情報の閲覧率が高くなる。尚、従来のサイバー広告システムにおいては、例えば広告主のバナー広告がクリックされた回数に応じて広告主から広告料を徴収するといった手法が採用されているが、この手法では、バナー広告をクリックした消費者が実際に広告を閲覧しているとは限らないものであった。これに対して、本システム10の場合には、内容（メール文）を読むことを前提とする電子メールに広告情報を挿入して配信するので、上記従来手法に比べて、広告情報の閲覧確率を高めることができる。しかも、上記従来のサイバー広告システムでは、バナー広告が1回クリックされた場合、その広告内容を閲覧するのはクリックした消費者1人だけであったが、本システム10の場合には、1通（1回）の電子メールによって、当該電子メールの送信ユーザ及び受信ユーザの少なくとも2人に広告情報を配信することができる。さらに、1通（1回）の電子メールが、複数のユーザに送信される場合には、多人数に広告情報の配信が可能となる。また、ユーザ18は多くの広告情報が配信されればされるほど、キャッシュバックや商品割引を受けられるポイントを獲得することができるため、本システム10のユーザ18は、本システム10を利用した電子メールの送受信を積極的に行うこととなり、その結果、このシステム10の広告媒体としての価値を向上させることができる。さらに、ユーザデータベース36内の各ユーザ18の広告情報履歴には、当該ユーザ18宛に配信された過去の広告情報が登録され、また、広告情報データベース34内の各広告情報の配信履歴には、当該広告情報が配信されたユーザ情報が登録されているので、広告主は、例えば自社広告が過去に配信されたユーザ18を対象ユーザに指定し、集中的な広告配信を行う等して、効率的な広告活動を推進することができる。

【0043】尚、上記において、ユーザ18の送信する電子メールが、非ユーザ宛の電子メールである場合には、電子メール生成手段46は、広告情報が挿入されない電子メールを生成し、生成された電子メールは、電子メール配信手段50により、上記非ユーザの契約しているプロバイダの電子メールサーバ宛に配信処理が行われる。

【0044】次に、図4のブロック図及び図20のフローチャートに基づき、配信された広告情報を閲覧したユーザ18が広告商品（又は広告サービス）を購入する際の処理手順を説明する。広告商品の購買を希望するユーザ18は、販売店舗へ出向き、広告商品の購買を申し込むと共に、携帯端末20のメモリーに格納されている認証データを呈示する。店舗では、呈示された認証データ及び広告情報に係る広告商品のID（請求項4又は5における

広告商品データ）を店舗のパソコン16等の情報端末から入力してセンターサーバ12に入力・送信する（S70）。尚、ユーザ18の認証データが、図9に示すように、ユーザIDをバーコード表示して構成されている場合には、当該バーコードを携帯端末20のメモリーから読み出して携帯端末20画面に表示すると共に、表示されたバーコードを店舗のPOS端末のバーコードリーダが読み取ってセンターサーバ12に入力・送信する。また、広告商品のIDは、広告情報を配信する際に、広告情報と共にユーザ宛に配信しておき、ユーザがこれを店舗で店員に告知するようにしても良い。あるいは、広告商品のIDをバーコード表示して各商品に適宜な手段で取り付けておき、このバーコードをバーコードリーダで読み取るようにしても良い。

【0045】認証データ及び広告情報に係る広告商品のIDの送信を受けると、センターサーバ12の販売条件確認手段60は、上記広告商品の販売条件の確認を行う（S71）。具体的には、入力された認証データをキーにユーザデータベース36内を検索し、当該認証データを有するユーザ18の広告情報履歴を参照すると共に、広告商品IDをキーに広告情報データベース34内を検索し、当該広告商品IDの広告情報を参照し、入力された認証データを有するユーザ18に対して、当該広告商品の広告情報が配信されたか否かを確認する。また、上記広告情報に、広告有効期間・日時に関するデータが登録されている場合（例えば、4月21日の午前10時から午後3時迄等）、販売人数制限に関するデータが登録されている場合（例えば、先着50名様等）には、上記販売条件確認手段60は、広告情報を参照して、広告有効期間・日時内の購買申込であるか否か、販売人数制限内の購買申込であるか否かを確認する。確認結果データは、確認結果送信手段62により、店舗のパソコン16に送信される（S72）。尚、この確認結果データに、ユーザ18のポイント数データを含めて送信しても良い。送信された確認結果データにより、当該ユーザ18宛に購買申込のあった広告商品の広告情報が配信されたこと、広告有効期間・日時内の購買申込であること、制限人数内の購買申込であること、等の販売条件が確認されると、店舗ではユーザ18に対して当該広告商品の販売を行い、売買情報をセンターサーバ12に送信する（S73）。この際、ユーザ18が自己の保有するポイントを使って広告商品の割引サービスを受けた場合には、使用ポイント数や割引金額等の割引情報が、上記売買情報に含まれて送信される。

【0046】上記売買情報の送信を受けて、ユーザ情報更新手段52は、ユーザデータベース36内における、当該ユーザ18のデータ中の購買履歴に、購買した広告商品の広告情報IDや購買金額等の所定の購買情報を記述し、また、配信された広告情報に係る広告商品を購入した場合には、その対価としてユーザ18に所定数のポイントが与えられることとなっているため、当該ユーザ18のデー

タ中のポイントに、所定数のポイントを加算し、ユーザ情報を更新する (S74)。ユーザ18が、自己の保有ポイントを使って広告商品の割引サービスを受けた場合には、ユーザ18のデータ中のポイントに、使用ポイント数が減算されると共に、購買対価として与えられるポイント数が加算されてポイントデータが更新される。

【0047】また、広告主データ更新手段56は、広告主データベース38内における、ユーザ18が購買した広告商品の広告情報を登録した広告主のデータ中の販売履歴に、購買したユーザID、広告商品の広告情報ID、販売金額、販売個数等の所定の販売情報を記述して、広告主データを更新する (S75)。さらに、広告情報更新手段56が、広告情報データベース34内における、上記広告情報のデータ中の販売人数に1人加算して、広告情報データを更新する (S76)。

【0048】上記においては、バーコード表示で構成した認証データをユーザ18の携帯端末20のメモリに格納しておき、これを店舗のバーコードリーダが読み取ってセンターサーバ12に送信する場合を説明したが、本発明はこれに限定されない。例えば、ブルートゥースと称される、2.4GHzの周波数帯の電波を用い、半径約10m以内で通信可能な短距離無線データ通信用の通信モジュールを、ユーザ18の携帯端末20及び店舗のパソコンの双方に組み込んでおき、ユーザの携帯端末20のメモリに格納された認証データを、上記電波を用いて店舗のパソコン16に無線電送して、認証データをセンターサーバ12に入力・送信するようにしても良い。尚、ユーザ18の携帯端末20が、上記ブルートゥースと称される短距離無線データ通信用の通信モジュールを組み込んだ携帯電話の場合には、ユーザデータベース内のデータ項目に携帯電話番号を含めておくと共に、この携帯電話番号を認証データに指定しておき、携帯電話のメモリに格納されている携帯電話番号データを、上記2.4GHzの周波数帯の電波を用いて店舗のパソコン16 (ブルートゥースと称される短距離無線データ通信用の通信モジュールが組み込まれている) に無線電送して、認証データをセンターサーバ12へ入力・送信しても良い。

【0049】上記の通り、本システム10においては、ユーザ18から購買申込のあった広告商品の広告情報が当該ユーザ18宛に配信されたか否かや、広告有効期間・日時の購買申込であるか否か、制限人数内の購買申込であるか否か、等の販売条件を確認した上で、商品の販売を行うことができる。このため、広告主は、「4月21日の午前10時から午後3時迄、先着50名様に限り、〇〇商品を3割引で販売」といったユーザの購買意欲を刺激する期間限定、人数限定で特別割引を行うといった柔軟な広告を行うことができる。また、ユーザ18は閲覧した広告情報に係る広告商品を購入した場合、ポイントを獲得することができるため、本システム10のユーザ18は、配信された広告情報の閲覧意欲、及び広告情報に係

る商品の購買意欲が強く喚起されることとなり、このシステム10の広告媒体としての価値が高まる。さらに、ユーザデータベース36内の各ユーザ18の購買履歴には、当該ユーザ18が過去に購買した広告商品の広告情報ID等の購買情報が登録され、また、広告主データベース38内の各広告主の販売履歴には、自社の広告商品を過去に販売したユーザ18のID、当該広告商品の広告情報ID等の販売情報が登録されているので、広告主は、自社の広告情報に係る広告商品を実際に購買したことのあるユーザ18を対象ユーザに指定して広告配信を行うことにより、購買に結びつく可能性の高い効率的な広告活動を推進することができる。

【0050】

【発明の効果】この発明に係る広告情報配信システムによれば、通信手段としての利用が急速に増加している電子メールに広告情報を挿入して配信するようにしたので、広告情報の配信機会を増大させることができる。しかも、電子メールの送信ユーザ及び受信ユーザの双方に対して、当該ユーザを広告対象とする広告情報を配信することができるので、広告情報を配信されたユーザが広告商品 (広告サービス) を購買する可能性が高く、効果の高い広告を行うことができる。

【0051】また、本発明の広告情報配信システムにあつては、広告商品 (広告サービス) を購買するユーザに、当該広告商品 (広告サービス) の広告情報が配信されたか否かを確認することができるので、例えば、「この広告を見た人にだけ、この広告商品を30%引き」といったようなユーザの購買意欲を刺激する広告を柔軟に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る広告情報配信システムの全体構成を示すイメージ図である。

【図2】ユーザ登録及び広告情報の登録を行う場面における機能構成を示すブロック図である。

【図3】ユーザ同士が電子メールを利用する際に、当該ユーザを広告対象とする広告情報を配信する場面における機構構成を示すブロック図である。

【図4】配信された広告情報を閲覧したユーザが広告商品を購入する場面における機構構成を示すブロック図である。

【図5】本発明に係る広告情報配信システムにユーザが新規登録する際の処理手順を示すフローチャートである。

【図6】ユーザ登録フォームの画面表示例を示す説明図である。

【図7】ユーザデータベースのデータ項目例を示す説明図である。

【図8】ユーザ登録完了を通知する画面表示例を示す説明図である。

【図9】認証データの画面表示例を示す説明図である。

【図 10】 広告主が自己の広告情報を登録する場合の処理手順を示すフローチャートである。

【図 11】 広告主データベースのデータ項目例を示す説明図である。

【図 12】 広告フォームの画面表示例を示す説明図である。

【図 13】 広告情報の確認や広告料金を通知する画面表示例を示す説明図である。

【図 14】 広告情報データベースのデータ項目例を示す説明図である。

【図 15】 広告情報の登録完了及び広告情報の ID を通知する画面表示例を示す説明図である。

【図 16】 ユーザ同士が電子メールの送受信をする際に、当該ユーザを広告対象とする広告情報を配信するための処理手順を示すフローチャートである。

【図 17】 メールフォームの画面表示例を示す説明図である。

【図 18】 ユーザに配信された電子メールの画面表示例を示す説明図である。

【図 19】 ポイント確認の画面表示例を示す説明図である。

【図 20】 配信された広告情報を閲覧したユーザが広告商品を購入する際の処理手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

10 広告情報配信システム

12 センターサーバ

14 広告主のパソコン

16 店舗のパソコン

18 ユーザ

20 携帯端末

22 専用回線

24 ユーザ登録フォーム生成手段

26 ユーザ情報登録手段

27 認証データ発行手段

28 広告主確認手段

10 30 広告フォーム送信手段

32 広告情報登録手段

34 広告情報データベース（広告情報記憶手段）

36 ユーザデータベース（ユーザ情報記憶手段）

38 広告主データベース

40 広告フォームデータベース

42 ユーザ確認手段

44 メールフォーム生成手段

46 電子メール生成手段

48 電子メール登録手段

50 電子メール配信手段

52 ユーザ情報更新手段

54 広告主データ更新手段

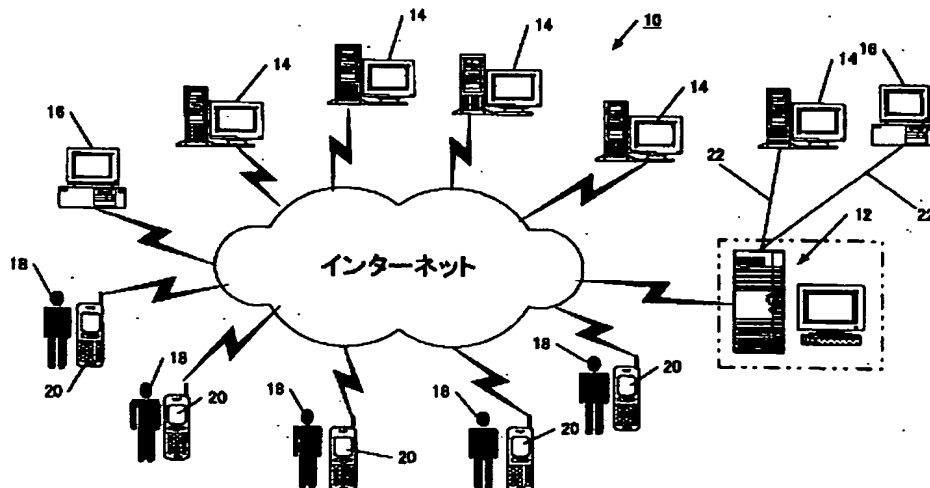
56 広告情報更新手段

58 電子メールデータベース

60 販売条件確認手段

62 確認結果送信手段

【図 1】

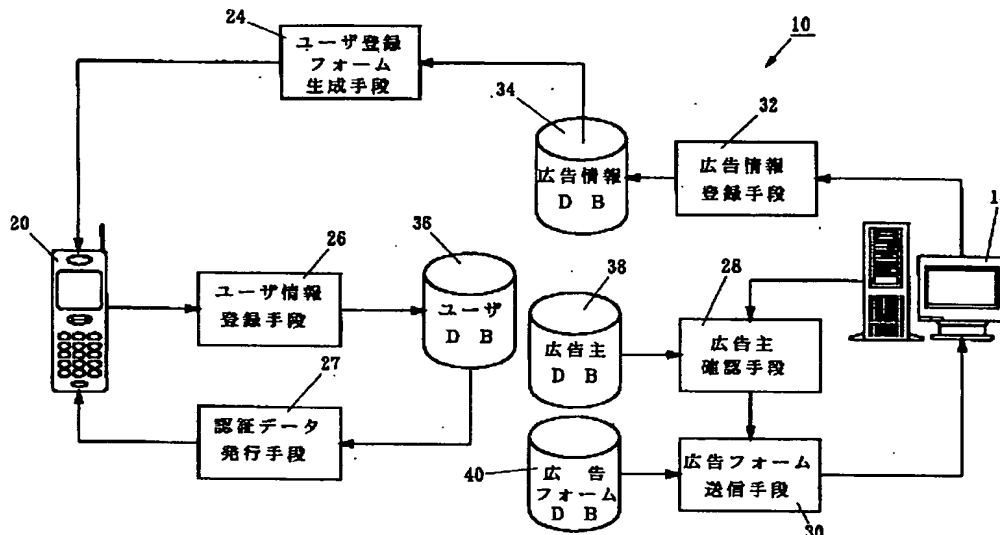


【図 11】

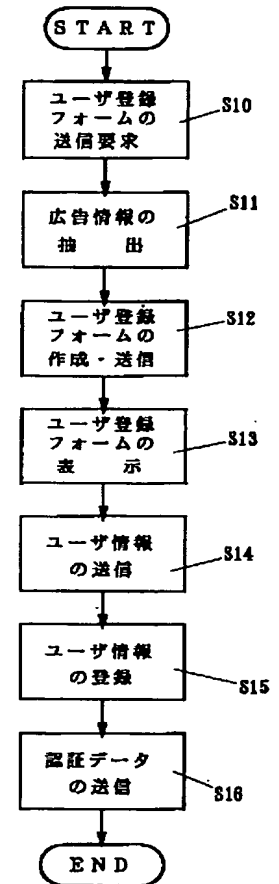
【広告主 DB】

広告主 ID
パスワード
メールアドレス
名称（氏名）
フリガナ
住 所
電話番号
業 種
広告料金
広告履歴
販売履歴

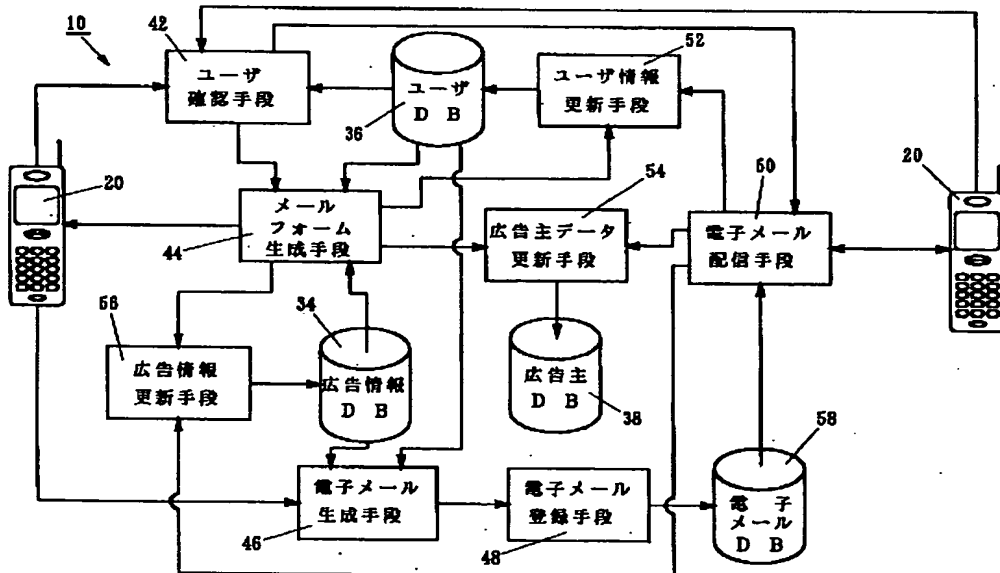
【図2】



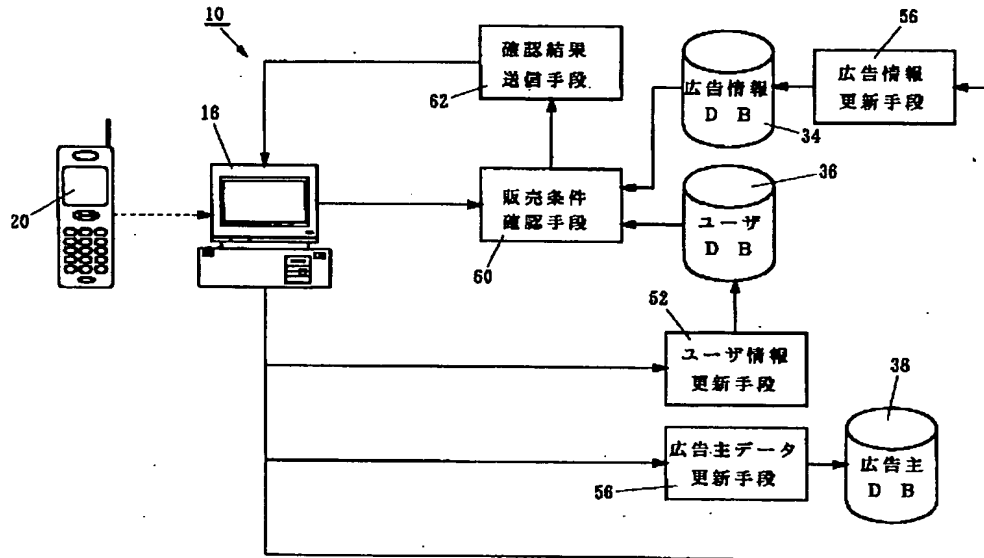
【図5】



【図3】



【図4】



【図6】

ADmoon.co.jp
 ■■■ 広 告 ■■■
 明日の人と地球の
 ために三芝電気

ユーザID (アドレス)

パスワード

氏 名

ヨミガナ

性 別 ☐ 男 ☒ 女

生年月日
 年
 月 日

年 齢 歳

住 所
 都道府県

市町村

DoCoMo転送アドレス

【図7】

【ユーザDB】

ユーザID
パスワード
メールアドレス
氏 名
フリガナ
性 別
生年月日
年 齢
住 所
メール転送アドレス
携帯電話番号
趣 味
職 業
年 収
ポイント
広告情報履歴
購買履歴

【図8】


ADmoon.co.jp
 ■■■ 広 告 ■■■
 明日の人と地球の
 ために三芝電気

さんは
登録されました

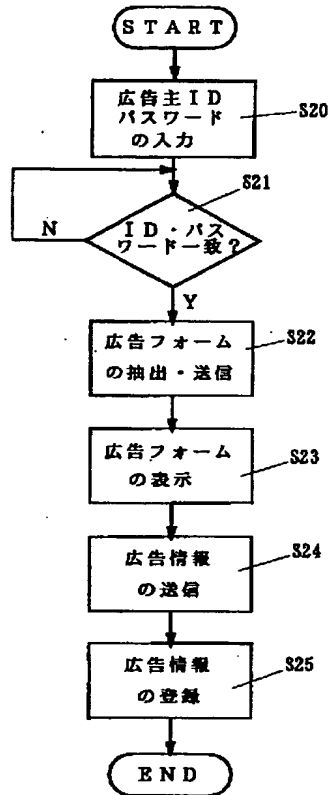
【図 9】

ADmoon.co.jp
 ■ ■ ■ 廣 告 ■ ■ ■
 明日の人と地球の
 ために三芝電気

yoshiko@ADmoon.co.jp
 さんの認証データを
 送信します



【図 10】



【図 12】

広告主 ID (アドレス)
 kaseido@ADmoon.co.jp
 パスワード

広告掲載期間
 2000年04月01日から
 2000年04月20日の間
 最高 10000 件

■ ■ ■ 広告ターゲット ■ ■ ■
☐ 全国
☐ 都道府県
☒ 神奈川県
☒ 市町村
☒ 横浜市

性 別 ☐ 男 ☒ 女
 年 齢
☐ 10歳未満
☒ 10歳代
☒ 20歳代
☐ 30歳代
☐ 40歳代
☐ 50歳代
☐ 60歳以上

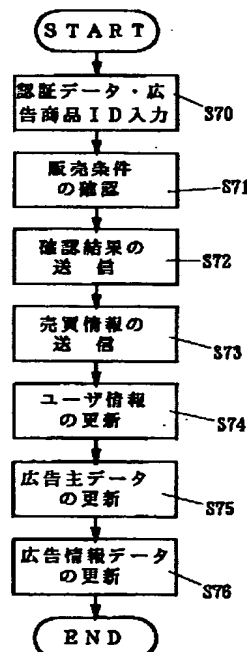
広告内容
 花正堂
 美白化粧品
 ビハーク新発売

【図 14】

【広告情報DB】

広告情報ID	広告主ID	kaseido
000001	広告掲載期間	2000/04/01 ~ 2000/04/20
000002	広告件数	10000件
000003	広告地域	横浜市
000004	性 別	女
	対象年齢	10~20歳代
	広告単価	30円/件
	広告内容	花正堂 美白化粧品 ビハーク新発売
	広告商品ID	XY0012
	広告回数	30
	配信履歴	yoshiko
	広告有効期間 ・日時	4月21日の午前 10時から午後 3時迄
	販売人数制限	50
	販売人数	45

【図 20】



【図13】

2000年4/1~4/20の間
横浜市の10歳代~20歳代の女性
に最高10,000件

花正堂
美白化粧品
ビハーク新発売

の広告を配布します。
1件につき30円、最高30万円
の広告費になります。

【図15】

2000年4/1~4/20の間
横浜市の10歳代~20歳代の女性
に最高10,000件

花正堂
美白化粧品
ビハーク新発売

の広告を配布します。
1件につき30円、最高30万円
の広告費になります。

上記広告を承りました

この広告のIDは、
000001です

【図17】

ADmoon.co.jp
MAIL
■ ■ ■ 広 告 ■ ■ ■
花正堂
美白化粧品
ビハーク新発売

メールアドレス

1keiko101
送信者番号:

宛先アドレス

■ 着信メール一覧 ■
4/2 近藤次郎
4/3 佐藤秀樹

☐ 新規文書 ☐
七時に渋谷ハチ公前、
遅れないでね。ヨシコ

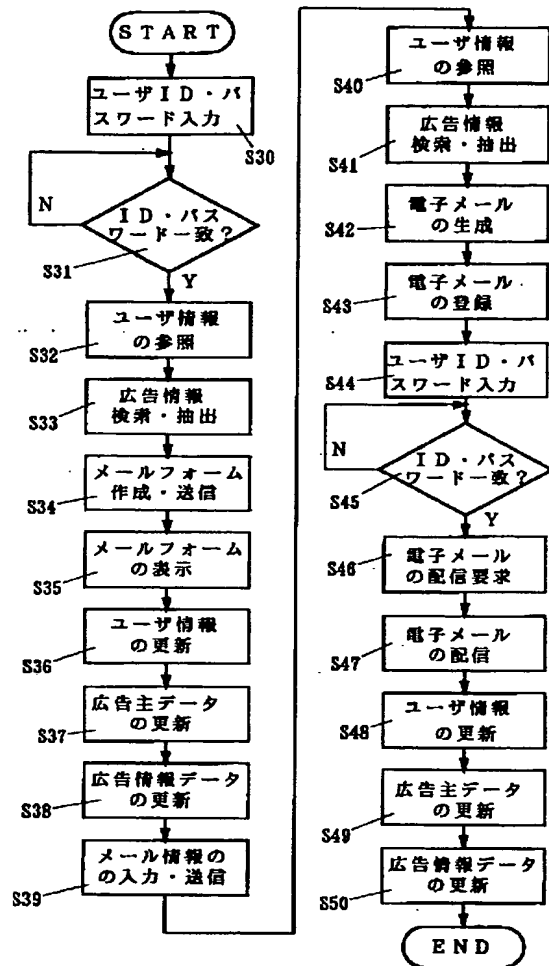
【図18】

ADmoon.co.jp
MAIL
■ ■ ■ 広 告 ■ ■ ■
登座自動車大森店
カロール試乗会
4/8~9

☐ 受信 ☐
七時に渋谷ハチ公前、
遅れないでね。ヨシコ

メールアドレス

【図16】



【図19】

ADmoon.co.jp
POINT

■■■ 広 告 ■■■

花正堂
美白化粧品
ビハーク新発売

現在yoshikoさんの
のポイントは
850です。

500円の
キャッシュバックが可能です。
350ポイントは保存されます。

キャッシュバックされる場合、
振込口座の入力をお願いいたします。

	銀行
	支店
	口座番号
	口座名義人

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

識別記号

F I

テマコード (参考)

H 0 4 L 12/58

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.